

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Endpoint Security for macOS V6.10（以降、本製品と記載します）を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・ 本製品は、ESET NOD32 アンチウイルス for Mac からのバージョンアップには対応しておりません。
- ・ 本製品をインストールする場合は、管理者アカウントでインストールしてください。
- ・ 本製品をインストールできる OS は、macOS v10.12 以降です。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルは「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることが出来ます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ ライセンス有効期限表示について

本製品ではライセンス有効期限が GMT (グリニッジ標準時) で表示されています。そのため、有効期限の時刻が「21:00」と表示されていても、有効期限内中は本製品をご利用頂けます。

□ ミラーサーバーからのアップデートについて

ESET Endpoint Security for macOS V6.6 より、以下の製品を使用して構築したミラーサーバーから、検出エンジン (ウイルス定義データベース) のアップデートができません。

- ・ ESET Endpoint Security V6.5 以下
- ・ ESET Endpoint アンチウイルス V6.5 以下
- ・ ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5 以下
- ・ ESET File Security for Linux Server V4.5 以下
- ・ ESET Remote Administrator V5.3
- ・ 2018 年 4 月 8 日以前に公開したミラーツール

ミラーサーバーをご使用の場合は、以下の製品を使用して、ミラーサーバーを構築してください。

- ・ ESET Endpoint Security V6.6
- ・ ESET Endpoint アンチウイルス V6.6
- ・ 2018 年 4 月 9 日に公開したミラーツール

□ バージョンアップ時のログの取り扱いについて

本製品では、旧バージョンからアップグレードする際、ログの引き継ぎは行われません。ログを保存する場合は、[ツール]>[ログファイル]より、ログ一覧上でコンテキストメニューを開き、[すべてエクスポート]を実行し、ログを外部へ保存してください。

□ macOS 11 Big Sur へインストールする際の注意点

本ビルドは macOS 11.x Big Sur での動作をサポートしていますが、以下の動作制限および注意事項がございます。

- ・ デバイスコントロールで使用できるデバイスタイプの制限

OS の仕様に基づき macOS 11.x Big Sur では、ディスクストレージおよび CD/DVD のみご利用いただけます。

| デバイスタイプ | macOS 10.12~10.15 | macOS 11.x |
|------------|-------------------|------------|
| ディスクストレージ | ● | ● |
| CD/DVD | ● | ● |
| USB プリンタ | ● | - |
| イメージングデバイス | ● | - |
| シリアルポート | ● | - |
| ネットワーク | ● | - |
| ポータブルデバイス | ● | - |

□ Apple M1 チップを搭載した Mac で使用する際の注意点

本製品を Apple M1 チップを搭載した Mac で使用するためには、Rosetta2 のインストールが必要になります。Rosetta2 をインストールしていない状態で、本製品をインストールしようとする、Rosetta2 のインストール許可を求める確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログが表示された場合は「インストール」をクリックして、Rosetta2 をインストールしてください。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

□ アンインストール後、Dock 上に無効なアイコンが残る

製品のアンインストール後、Dock 上に無効なアイコンが残る不具合を確認しています。Dock 上に残ったアイコンにつきましては、Dock のオプションより、[Dock から削除]をクリックし、削除してください。

□ 警告ウィンドウの表示／非表示の一括制御ができない

[警告と通知]-[警告を表示]チェックボックスの値が反映されない不具合を確認しています。つきまして、警告ウィンドウの表示／非表示の設定の際は [警告と通知]-[警告を表示]-[詳細オプション]-[設定]のダイアログの一覧より、設定を行ってください。

□ 設定のエクスポートについて

以下の項目の設定がエクスポートされないことを確認しています。エクスポートした設定ファイルをインポートしても値が設定されないので、必要に応じて再設定を行ってください。

- ・ 詳細設定-[ツール]-[ログファイル]-[ログファイルを自動的に最適化]
-[未使用期間が最も長いレコード]
- ・ 詳細設定-[ツール]-[プレゼンテーションモード]
-[プレゼンテーションモードを有効にする]
- ・ 詳細設定-[ユーザー]-[コンテキストメニュー]

□ 設定が既定値に戻らない

[設定]-[すべての設定を既定値に戻す]をクリックしても、以下の項目の設定値が既定値に戻らないことを確認しています。既定値に戻す場合は、詳細設定の各設定画面の[既定]をクリックしてください。

- ・ 詳細設定-[ユーザー]-[コンテキストメニュー]

□ Chrome 利用時にアプリケーション除外が有効にならない

[設定] > [一般] > [除外] > [Web とメール]のアプリケーションの除外機能で、/Applications/Google Chrome.app を登録しても設定が有効にならない不具合を確認しています。Chrome ブラウザが行う通信をプロトコル検査の対象外にできません。本機能をご利用の際は、Chrome 以外のブラウザをご利用ください。

□ イベントログに「ソケットから読み取れません」などのログが出力される

Web アクセス保護および電子メールクライアント保護の動作時、以下のコンポーネントのイベントログが発生することを確認しております。

- ・ Protoscan proxy agent
- ・ ESET デーモン

確認できているイベントメッセージは以下の通りです。

- ・ ソケットから読み取れません: ネットワークが停止しています
- ・ ソケットに書き込めません: 破損したパイプ
- ・ ソケットから読み取れません: ソフトウェアによって接続が中断されました

いずれも開発用ログのため、保護機能への影響はございませんので、これらのイベントログは無視してご利用いただけます。

□ Safari に対してファイアウォールルールが適用されない

/Applications/Safari.app に対してアプリケーション固有のファイアウォールルールが正常に機能しない不具合を確認しております。

- macOS 10.15 以下の環境で、除外（Web とメール）機能が動作しない

[詳細設定]>[一般]>[除外]-[設定]>[Web とメール]タブに登録した除外設定が動作しないことを確認しております。緩和策として、Web アクセス保護の URL リストに検査から除外する URL を設定することで、特定のサイトアクセスへの除外設定を有効にすることができます。

- 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>